

「令和7年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第5回）」
議事概要

I 日 時

令和8年3月19日（木）13：30～15：30

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構14階会議室21～22

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

鈴木 裕子（東陽監査法人 シニアパートナー 公認会計士）

竹腰 沙織（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎池田 浩之（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○鳥山 亜弓（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

- ① 令和8年3月から6月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）にかかる事前点検について
- ② 令和7年12月から令和8年2月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件について

（2）その他

V 議事内容

- （1）① 令和8年3月から6月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 令和7年12月から令和8年2月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

- I：随意契約等における価格交渉状況
- II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
- III：低落札率案件について

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・直近2回の調達の結果、連続して低落札率となっている案件について、構造的な要因がないか分析をすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、年度後半に業務が集中する監査市場の特性により、参考見積を提出した事業者のうち複数が繁忙期を理由に入札を辞退し、結果として参考見積と実際の入札市場との間に乖離が生じやすいことが挙げられる。また、本業務は管理・調整・品質確保といった外形化しにくい工数の比重が大きく、体制の置き方や業務理解の深さによって積算額が大きく変動しやすい性質を有しているため、最低価格落札方式の下では、管理工数等を過小に見積もった事業者による低価格入札が発生しやすい状況を生んでいると考えられる。 ・今後の対応としては、冬にかけて業界として繁忙期であることが判明したので、調達時期を前倒しする。また、参考見積については業務理解が十分な応札者に依頼する。

(2) その他について

令和8年3月以降の調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上